

「排除をしない相談支援を学ぶ」

講師：荒井 浩道 氏

(駒澤大学文学部社会福祉学科社会福祉専攻 教授)

近年の社会変化や支援ニーズの多様化・複雑化に伴い、“困難事例”と言われるような事例が増えています。

この研修を通して“排除をしない相談支援の体制づくり”“断らない相談支援に必要なこと”について学び、「地域共生社会の実現」のために私たち社会福祉士に求められている役割を考えます。



【講師プロフィール】

荒井 浩道 (あらい・ひろみち) 現職：駒澤大学・教授

1973年、群馬県生まれ

早稲田大学卒業、早稲田大学大学院修了、博士(人間科学)、
社会福祉士

早稲田大学助手、駒澤大学専任講師、駒澤大学准教授等を経て、駒澤大学教授。
早稲田大学非常勤講師、明治大学兼任講師、泉龍寺(群馬県)住職を兼務。
日本ソーシャルワーク学会理事、日本認知症ケア学会理事、お茶の水女子大学附属中学校
いじめ重大事態第三者調査委員会委員。
著書に『ナラティブ・ソーシャルワーカー “〈支援〉しない支援”の方法』(新泉社、
2014)など。
現在の研究テーマは、「誰も排除しないナラティブ・アプローチ教育プログラムの開発と
評価」(科研費、令和3年度～令和6年度)。

日時 2024年2月17日(土) 14:00～16:00

会場 Zoomによるオンライン研修

参加費 無料

定員 50名 ※定員を超えた場合は茨城県社会福祉士会会員を優先します

申込み 茨城県社会福祉士会ホームページ

または QRコードから⇒



締切り 2024年2月14日(水) 22:00

* 申込み者には、EメールでZoom入室のURL等をお送りします